

## 医療面接・歯科臨床判断学（診療の基本 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学） ユニット責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	「診断する」とは、患者に付随している異常な状態を病態生理学的立場のみならず、心理的、社会的要因を含む広い立場から、現状で可能な診断情報を収集し、総合的な（病態、臨床疫学的な確率データ、患者の意向・価値観、医師と患者の心理など）判断に基づいて最適な医療を行うための根拠を得る過程（プロセス）であることを理解する。 「歯科総合診療学」とは、歯科医学の細分化傾向に対して口腔疾患を総合的に診るとともに、患者の全身機能との関連、生活習慣や環境などの背景をも配慮し、歯科の common disease を対象にプライマリ・ケアとして治療と継続的なフォローを包括的に行う学問であることを理解する。
授業担当者	伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，遠藤弘康，青木伸一郎，岡本康裕，(歯科総合診療学)
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス」藤澤盛一郎，笹原廣重編著，砂書房（第2版） その他にプリントを配布する。
参考図書	「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」伊藤孝訓，寺中敏夫編集，クインテッセンス出版 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー 患者の診かたと歯科診療」黒崎紀正他編集，医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」医療面接から臨床判断学まで，竹村洋典，南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」福井次矢，医学書院 「口腔診断学」下里常弘他，医学書院 「歯科口腔診断ハンドブック」増田 屯，藤澤盛一郎，医学情報社 「歯科医のための医療コーチング入門」岸 英光，砂書房
実習器材	なし
評価方法 (EV)	成績評価は，定期試験(80%)，小テスト・レポート(15%) および授業態度(5%) を勘案し総合的に評価する。再試験の範囲はすべての範囲とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	医療の本質は不確実性にあるといわれており，この問題に対処する方法として，本講義は歯科医師として眼前の患者さんに最良な治療やマネージメントが奏功できるように，臨床各科の知識を頭の中で整理統合し，再編成できる考える力を育てる学問であり，臨床において患者に対応する際に即役立つことなので，興味を抱いて講義に参加して欲しい。E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月5日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	ガイダンス 1) 医療者の態度 2) 診断学とは 3) 医療の不確実性 4) 患者医師関係	【準備学習項目】 ・医療者としてふさわしい態度について説明できる。 【講義】 ・期待される医師の態度を説明できる。 ・口腔診断学と歯科総合診療学を説明できる。 ・総合診療学の歯科臨床における役割を説明できる。 LS: 教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < B-1-1) ~ 4)/ 必-2-B > 教室：302 教室	伊藤孝訓
4月12日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	臨床判断学(1) 1) 診断論理 2) 医学判断学 3) 問題発見・解決法 4) 診断プロセス	【準備学習項目】 ・基本的な問題解決法について説明できる。 【講義】 ・臨床情報には不確実性要素を含み，不確実性下で臨床判断を行うことを説明できる。 ・基本的な診断論理を説明できる。 ・意思決定の方法について説明できる。 ・診断プロセス(診断情報の収集・分析・決定)について列挙し説明できる。 ・医学判断学について説明できる。 LS: 教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < B-1-1) ~ 4)/ 必-12-A, 必-12-B > 教室：302 教室	伊藤孝訓
4月19日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	臨床判断学(2) 1) EBM 2) 決断分析の実際	【準備学習項目】 ・EBMについて説明できる。 【講義】 ・診断テストを使うことができる。 ・EBMの背景を概説できる。 ・EBMの概念を説明できる。 ・臨床判断分析の手順を説明できる。 ・Decision tree による実際例を説明できる。 LS: 教科書，プリント，マルチメディアによる講義 < B-1-4), C-4-1)/ 必-12-A, 必-12-B > 教室：302 教室	内田貴之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月26日(木) 1時間 9:00～9:50	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最小化	【準備学習項目】 ・医療過誤について説明できる。 【講義】 ・経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 ・臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 ・診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 ・ヒューマンエラーについて説明できる。 ・歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 ・クリティカルパスについて説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-5-2)/ 必-4-B, 必-4-D > 教室: 302 教室	伊藤孝訓
5月10日(木) 1時間 9:00～9:50	患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	【準備学習項目】 ・歯科患者の心理状態について説明できる。 【講義】 ・歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 ・患者対応時の注意点を列挙できる。 ・患者の望む治療者(歯科医師)の人間像を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < B-2-2)/ 必-2-B, 必-10-I > 教室: 302 教室	多田充裕
5月17日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(1) 1) 患者本位の治療 2) コミュニケーション 3) OSCE	【準備学習項目】 ・患者の医療に対する希望を説明できる。 【講義】 ・患者の権利と義務について説明できる。 ・患者本位(中心)の医療を説明できる。 ・インフォームドコンセントの医療現場における実践を説明できる。 ・コミュニケーションの重要性を説明できる。 ・患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 ・OSCEの目的, 意義, 実施方法を概説できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A1～4, B-2-1)～2)/ 必-1-B, 必-8-A, 必-8-B > 教室: 302 教室	伊藤孝訓
5月24日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(2) 1) 医療面接スキルの4要素 2) 歯科医療面接	【準備学習項目】 ・医療面接の目的について説明できる。 【講義】 ・医療面接の4要素(尋ねる, 聴く, 答える, 観察する)について説明できる。 ・望ましい基本的態度を説明できる。 ・コミュニケーションスキルを列挙し説明できる。 ・非言語的コミュニケーションを説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-4, B-2-1)～2)/ 必-8-B > 教室: 302 教室	青木伸一郎
5月31日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(3) 1) ロールプレイ 2) 会話分析(トランスクリプト)	【準備学習項目】 ・コミュニケーションスキルについて説明できる。 【講義】 ・信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 ・ロールプレイの目的や方法を説明できる。 ・トランスクリプトの目的や方法を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-4, B-2-1)～2)/ 必-8-B, 必-10-A > 教室: 302 教室	青木伸一郎
6月7日(木) 1時間 9:00～9:50	医療面接(4) 1) メディカルコーチング 2) 患者教育	【準備学習項目】 ・コーチングについて説明できる。 【講義】 ・メディカルコーチングを説明できる。 ・聴く態度の重要性を説明できる。 ・効果的な説明の仕方を説明できる。 ・患者教育の重要性を説明できる。 ・患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < A-4, B-2-1)～2)/ 必-8-B, 必-10-A > 教室: 302 教室	内田貴之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月14日(木) 1時間 9:00～9:50	診療録(1) 1) 診療録の構成 2) 現症(全身の所見) 3) 現症(口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 生活像 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往歴 9) 家族歴	【準備学習項目】 ・ 診療録に記載する内容について説明できる。 【講義】 ・ 診療録の構成を列挙できる。 ・ 現症の基本的な記載について説明できる。 ・ 口腔内診査の項目を列挙できる。 ・ 患者プロフィールの重要性を説明できる。 ・ 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 ・ 現病歴の基本的な記載について説明できる。 ・ 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 ・ 家族歴の重要性を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-5-A, 必-8-C, 必-10-B > 教室: 302 教室	岡本康裕
6月21日(木) 1時間 9:00～9:50	診療録(2) 1) POS 2) POMR	【準備学習項目】 ・ 問題指向型診療録(POMR)について説明できる。 【講義】 ・ POSについて解説できる。 ・ POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 ・ 診断思考に基づいた問診(病歴聴取)を説明できる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-5-A,B > 教室: 302 教室	岡本康裕
6月28日(木) 1時間 9:00～9:50	診 察(1) 1) 口腔内診査 2) 診査で何を診るか 3) 理学的診査と病態	【準備学習項目】 ・ 歯科疾患の診断に必要な口腔内診査について説明できる。 【講義】 ・ 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 ・ 口腔内診査の特性について説明できる。 ・ 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明し, 各評価基準を列挙できる。 ・ 診査所見と病態の関連が説明できる。 歯の実質欠損 擦過診 温度診 電気診 水平・垂直打診 動揺度 ポケット測定等 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-1-1)/ 必-10-B,C,F,G,H > 教室: 302 教室	岡本康裕
7月5日(木) 1時間 9:00～9:50	症候学(1) 1) 症状と徴候から診る歯・歯髄・歯周疾患 2) 症状と徴候から診る顎関節疾患	【準備学習項目】 ・ 齶蝕、歯髄疾患および歯周疾患について説明できる。 【講義】 ・ 齶蝕の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 歯髄疾患の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 根尖性歯周炎の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 辺縁性歯周炎の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 顎関節症の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < F-2-4)-(4),F-3-3)-(1)～(4)/ 必-9-B, 必-11-D > 教室: 302 教室	遠藤弘康
7月12日(木) 1時間 9:00～9:50	症候学(2) 3) 症状と徴候から診る歯科心身症 4) 症状と徴候から診る嚢胞, 腫瘍, 口腔粘膜疾患 5) 症状と徴候から診る疼痛の診断	【準備学習項目】 ・ 疼痛の臨床的特徴を説明できる。 【講義】 ・ 心身症症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 顎口腔領域の軟組織・嚢胞・腫瘍疾患の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 口腔粘膜疾患の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 腫瘍の症状, 診査所見, 病態を関連づけることができる。 ・ 口腔疾患の痛みの臨床的特徴を説明する。 ・ 痛みの臨床分類と症状表現について説明する。 ・ 痛みの診断手順を説明する。 LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 < D-4-6),F-2-4)-(3),F-4-5)/ 必-9-B, > 教室: 302 教室	遠藤弘康

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略 (SBOs) (LS)・準備学習 (予習) 内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月19日(木) 1時間 9:00 ~ 9:50	症候学(3) まとめ	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科疾患の症状, 診査所見, 病態を説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診断における思考過程について説明できる。</li> <li>・ 診断するために必要な情報について説明できる。</li> <li>・ 症状、診査所見から診断名を推論できる。</li> </ul> <p>LS: 教科書, プリント, マルチメディアによる講義 &lt; D-4-6),F-2-4)-(3),F-4-5)/ 必 -9-B, &gt; 教室: 302 教室</p>	多田充裕